

# 1. 人口構造

## 若者の減少と進む高齢化

## POINT 1

人口は若年層を中心に減少傾向にあります。

## POINT 2

核家族世帯、単独世帯は増加傾向にあります。

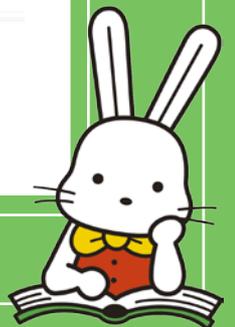
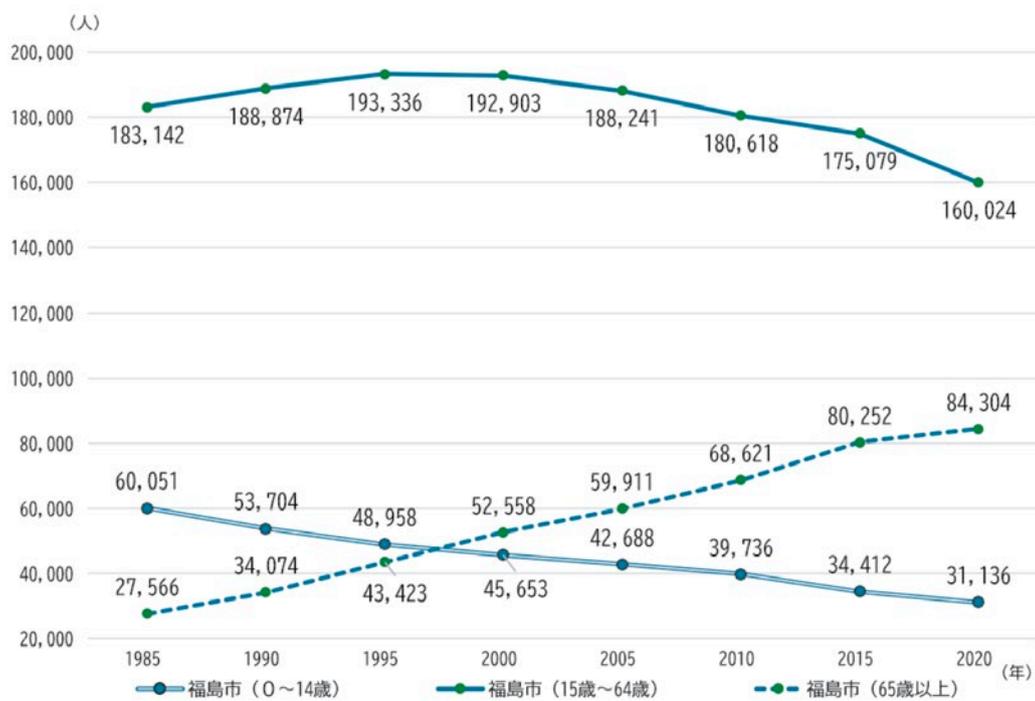
## POINT 3

高齢者数、高齢化率ともに増加しています。

## PICK-UP

代表的なグラフ

### 年齢別（3区分）人口

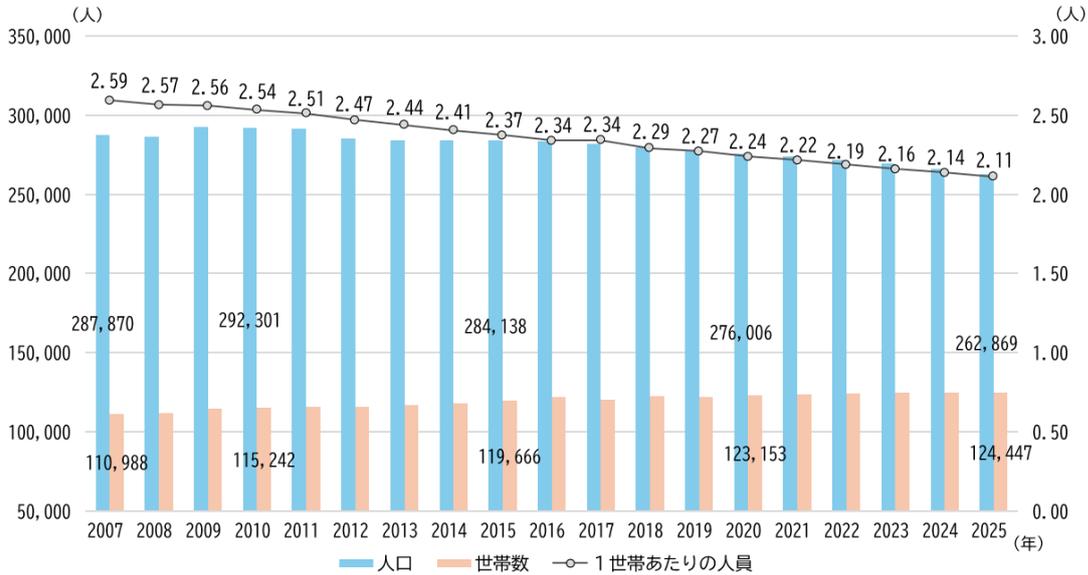


# # 1

## 人口・世帯数

theme  
人口構造

飯野町との合併により2009年の人口は増加しましたがその後は減少傾向にあり、世帯数は核家族化が進むなどにより増加傾向にあったものの2024年、2025年と減少に転じています。



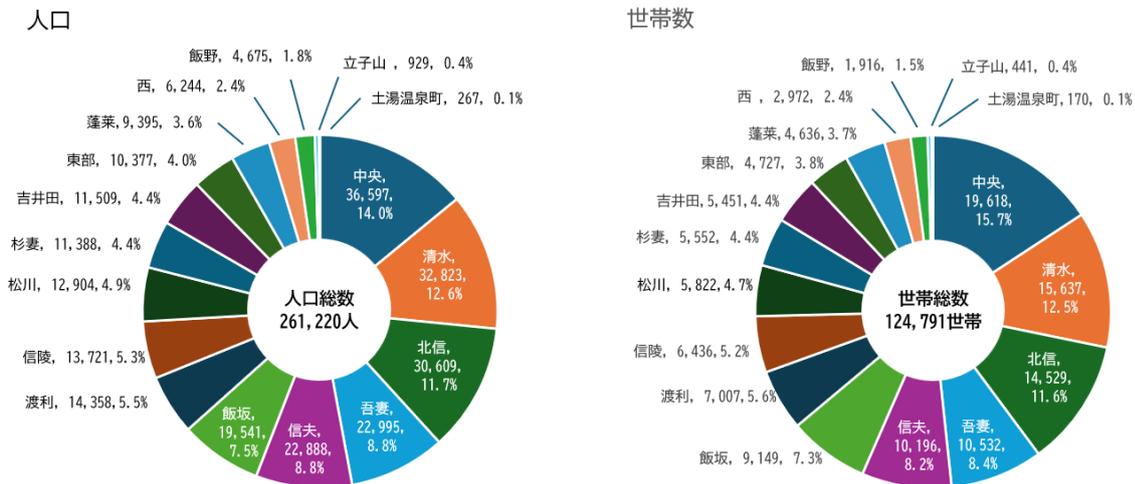
資料：住民基本台帳  
基準日：各年3月31日現在

# # 2

## 地区別（支所別）人口・世帯数割合

theme  
人口構造

人口と世帯数の上位5地区はいずれも中央、清水、北信、吾妻、信夫の順となっており、この5地区が占める割合は人口が55.9%、世帯数は56.5%となっています。



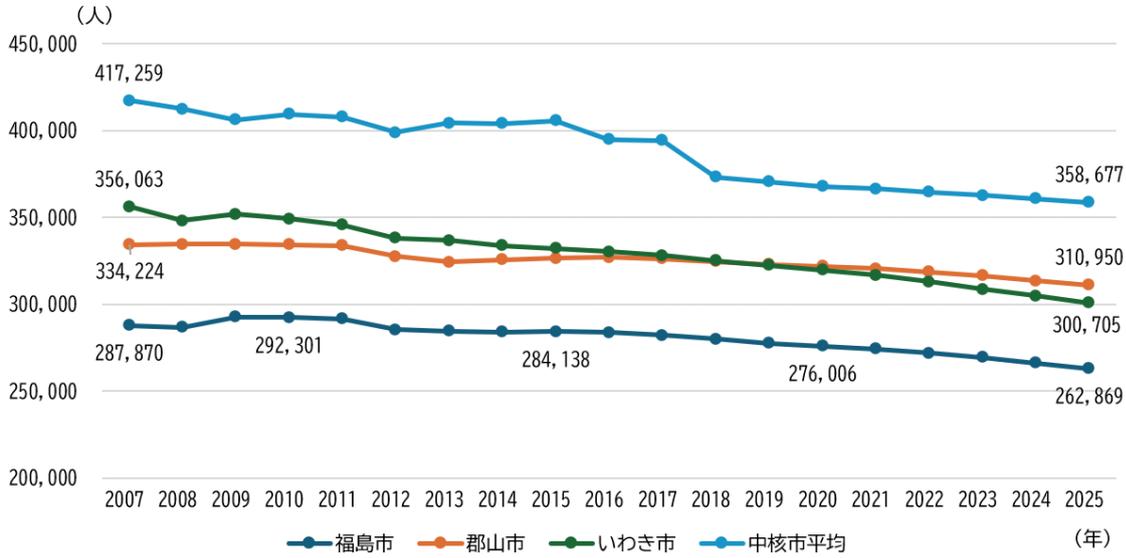
資料：住民基本台帳  
基準日：2026年1月31日現在

# # 3

## 人口（中核市・3市）

theme  
人口構造

人口はいずれも減少傾向にあり、今後さらなる減少が予想されます。中核市平均の2018年の減少は、中核市の指定要件が人口20万人以上に変更となって新たな自治体が加入したことによるものです。



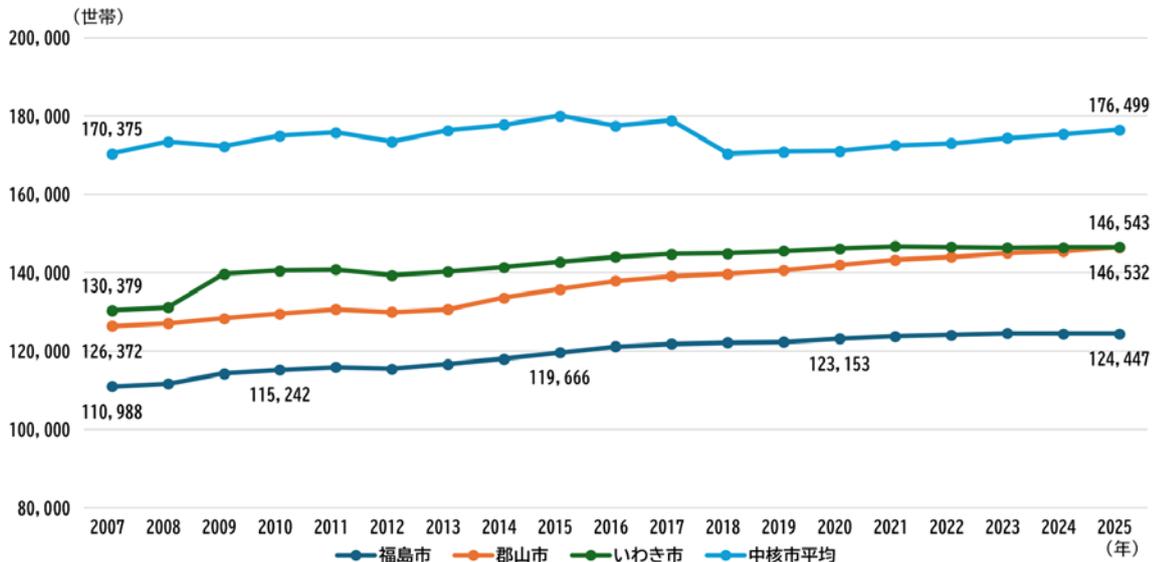
資料：都市要覧（中核市市長会）、住民基本台帳  
基準日：各年3月31日現在

# # 4

## 世帯数（中核市・3市）

theme  
人口構造

世帯数は核家族化が進んでいずれも増加傾向にあり、中核市平均及び郡山市は引き続き増加しているものの、福島市及びいわき市は上げ止まりの状況となっています。



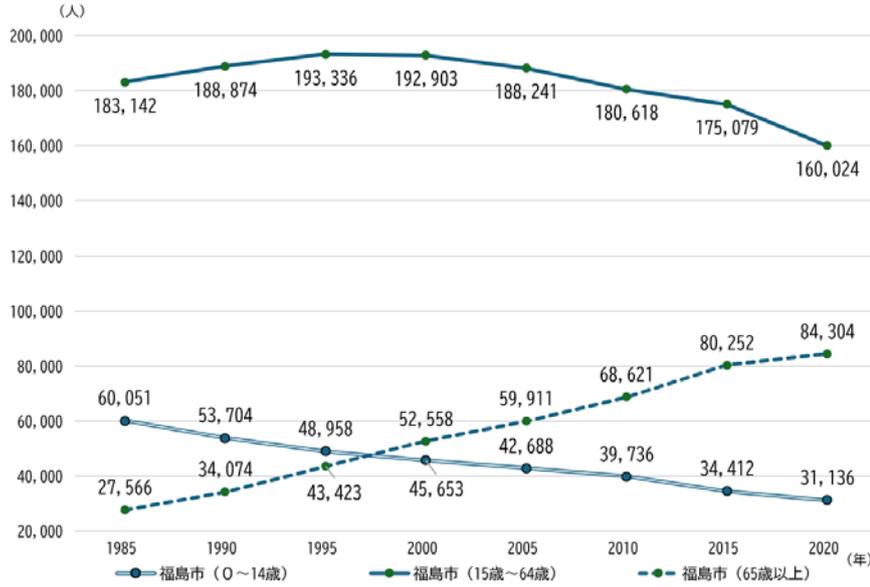
資料：都市要覧（中核市市長会）、住民基本台帳  
基準日：各年3月31日現在

# # 5

## 年齢別（3区分）人口

theme  
人口構造

老年人口（65歳以上）は2000年に年少人口（0～14歳）を抜いてその後も差は広がり続けており、生産年齢人口（15～64歳）は2000年以降減少の一途をたどっています。



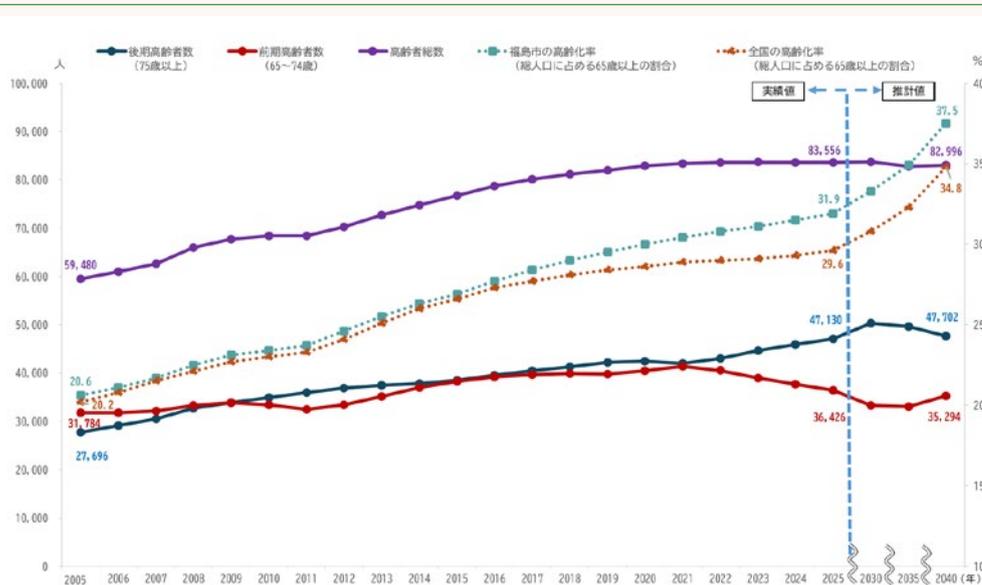
資料：国勢調査  
基準日：各年10月1日現在

# # 6

## 高齢者（65歳以上）数と高齢化の状況

theme  
人口構造

高齢者総数、高齢化率ともに増加しており、今後15年の推計では高齢者総数は減少に転じるが高齢化率は増加し続けると見込まれます。



資料：2005～2025年までは住民基本台帳、2026年以降は介護保険課推計値  
基準日：各年9月30日現在

# # 7

## 家族類型別世帯数

theme  
人口構造

核家族世帯、単独世帯は増加傾向にある一方で、核家族以外の世帯（夫婦と両親からなる世帯など）は減少傾向にあります。



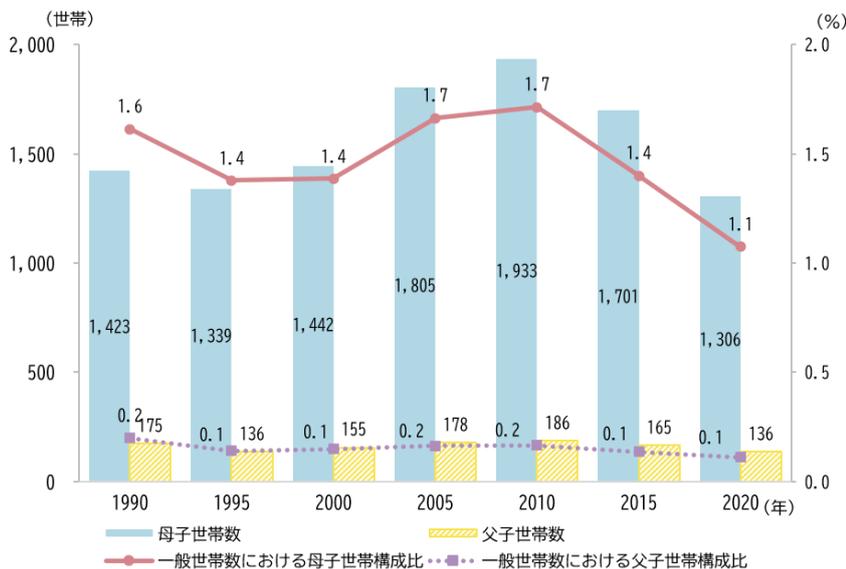
資料：国勢調査  
基準日：各年10月1日現在

# # 8

## 母子・父子世帯数

theme  
人口構造

母子世帯は父子世帯よりも約10倍多く、2010年以降は母子世帯、父子世帯ともに減少に転じています。（母子（父子）世帯とは、死別又は離別等の女（男）親と未婚の20歳未満の子供のみからなる世帯を言います。）

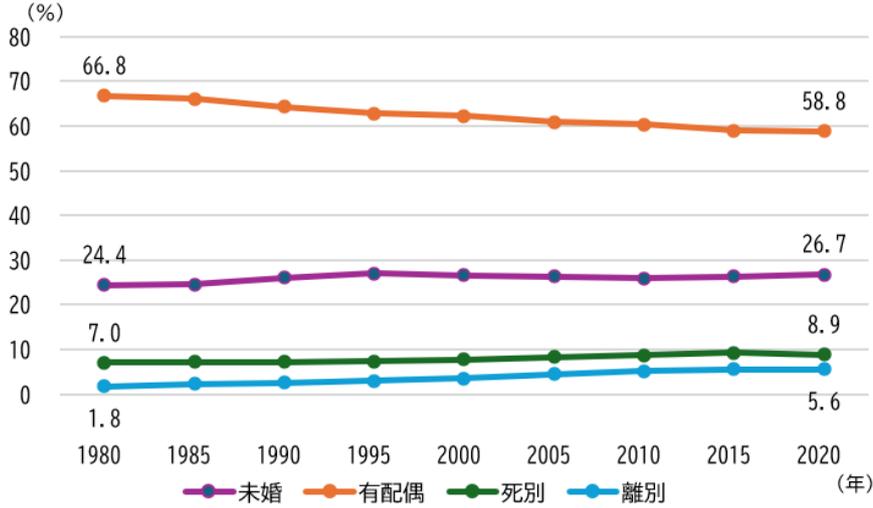


資料：国勢調査  
基準日：各年10月1日現在

# # 9

## 配偶関係

未婚率は横ばいですが、有配偶率は減少傾向にあります。

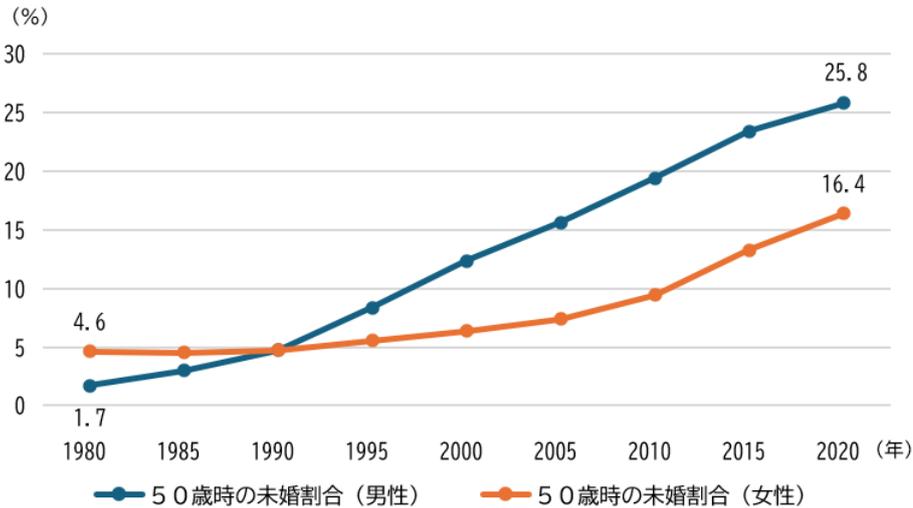


資料：国勢調査  
基準日：各年10月1日現在

# # 10

## 50歳時の未婚割合

50歳時の未婚の割合は男性が女性より約10%高い状況となっています。



資料：国勢調査  
基準日：各年10月1日現在